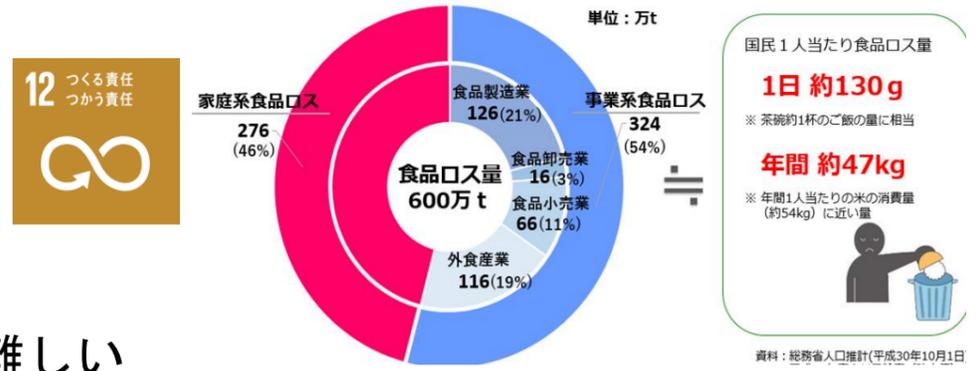


# 食品ロスビジネス

仙台第三高等学校 D02班

## 背景

＜事業系食品ロスの量と削減目標＞



**仮説**今のままでは政府が掲げる目標の達成は難しい  
この状況を打開する案が必要なのではないか

## これまでの研究

**既存のサービスに問題があるのでは？**

→情報提供に時間がかかり効率が悪い  
**提案するサービス**

- ・国と連携して国内の食品をあつかう店のデータを直接集約&管理（効率化）
- ・余剰食品の仕入れ&販売
- ・第三セクターで運営（安価を目指す）

**発表**

桜美林大学ビジネスアイデアコンテスト

## 改善

**アイデアコンテストから**

食品関連業者が協力するメリットは？

第三セクターは時代遅れ

**現実味を帯びたものにする**

～これらを踏まえて以下のように改善～

- ・サービス名とロゴ
- ・問題点をより多く取り上げる

→アピールポイントを増やす

- ・第三セクター案を廃止

→安価を実現する代わりに方法を探す

画像削除

## 参考文献

農林水産省 [https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2010/spe1\\_01.html](https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2010/spe1_01.html)

フードシェアリング利用に関するアンケート MUFGより  
[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_policy/meeting\\_materials/assets/internet\\_committee\\_200331\\_0003.pdf](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_policy/meeting_materials/assets/internet_committee_200331_0003.pdf)

フードバンク活動の現状と課題 一般社団法人全国フードバンク推進協議会

[https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer\\_education/meeting\\_materials/assets/review\\_meeting\\_002\\_191126\\_0014.pdf](https://www.caa.go.jp/policies/policy/consumer_education/meeting_materials/assets/review_meeting_002_191126_0014.pdf)

## 問題点及び重要点とその解決

### 1.インフラ整備(事務所 倉庫 配送用車 等)

各地方の主要都市に**管理事務所**と**倉庫**を設置  
その都市で集められた食品はその都市で消費することで輸送距離を短くする

### 2.人手不足

**食品管理のオートメーション化**による人員削減

### 3.運営費の不足



### 4.ノウハウの不足

要望・意見をまとめてサービスの改善を常に行う

### 5.利用率の低さ (使いにくさ)

インフルエンサーに宣伝してもらい**余剰食品**のイメージ向上

- ・提供者側と受取側で別々のホームページ
- ・カテゴリーを選んで探せる
- ・サブスクリプション・定期便

### 6.食品寄贈に伴う法的リスク

専属のコーディネーターを各管理事務所に配置  
(食品衛生責任者 など)

### 7.行政との連携不足

食品ロス削減事業の一つとして認めてもらい  
サービスの宣伝、食品関連事業者へ協力を仰ぐ

## まとめ

うめがすと同様のサービスはまだ無いため仮説で挙げた問題の解決が見込まれる